平成22年周	度(対2)	(年度実績)		事	務	事	業評	価	表	1	作成日 平成 2	2 年 6 月 2 日
部局名 教育	委員会		所属名	郷土博物	館			所属長名	3 朝比奈	竹男	電話 484-9011	
. 事務事	業の位	置付け・概要	更(P	LAN)								
コード	4163	事務事業名称	郷土博	享物館収蔵 資	資料等整理	活用事業				5	短縮コード 経常	臨時 416
予算区分 会	計 01	一般会計		款 05	労働費			項 01	労働諸費		目 02 緊急雇	用対策費
区分	自治事務		受託事務	根拠	<u>』</u> 法令等	「千葉県 付要綱」	緊急雇用創	出事業臨	時特例基金条	例,千葉県緊急雇	用創出事業臨時特例	列基金事業補助金交
事業概要(哥	事務事業を	開始したきっかい	ナを含めて	(記入)								
郷土博物館で	は、市史										施している事業でな 公開し,文化を提信	かる。 供していく環境を整
事務事業を耳	取り巻くり	∜況の変化 又、←	今後の変化	上の推測			5本の柱	(章)	02 人間草	尊重都市をめざし	~	
		に公開し,文化を ンターネット上の					大項目	(節)	05 文化			
						総合計	中項	目	02 文化原	I		
						計画の施策	小項目(施策)	02 文化資	資料の収集・保存	・活用	
						体系	細項	目	02 保存	・展示施設の充実		
							実施計計画					
計画事業の位	置付けの	有無		計画等	事業期間	1		~		計画事業費		千円
2. 事務	事業の国	目的・指標・	実績((DO)								
対象 (誰を何を対 ているのか)	象にし	求職者										
手段 (具体的な事	· 双 击 坐		や文化財	調査で40年						をはじめとして,)整理作業を進めた	図書や写真, 民俗	資料など多数ある。
(具体的な事 のやり方、手 細)		※平成22年度に計 21年度と概ね同様		ること:								
意図 (何を狙って か)	いるの	市史編さんで収集また、失業者に対								提供していく。		
ねらい (上位 意図)	施策の	博物館資料とし、また、失業者に										
区分							単位	<u></u>	20年度	計画	2 1 年度 実績	22年度計画
	指標 1	事業に従事する	人数				人		天祖	計画	4	4
対象指標	指標 2		·									
	指標3											
	指標 1	新規雇用の失業	 者				人				4	4

%

100

100

100

活動指標

成果指標

上位成果指標

指標2

指標3

指標 1

指標2

指標3

指標 1

指標2

指標3

雇用の創出(事業に従事する人数/新規雇用の失業者)

⊐ -	-ド 4163 事務事業名		美名称	郷土博物館収蔵資料等整理活用事	手 業	所属名	郷土博物館				
単位				単位	20年度	2 1	年度		2 2 年度		
				丰匠	実績	計画		実績		計画	
			国	千円							
			県	千円		3, 716			3, 573	3, 7	16
	財源内訳	内訳	地方債	千円							
+			一般財源	千円							
│			その他	千円							
事 業費 (A)	主な事業費の内訳			賃金:3,393千円 消耗品費:323千円	賃金:3,5 消耗品費			賃金:3,393千円 消耗品費:323千円			
人件費(B) 千I				千円	0	9, 509. 4			9, 509. 4	9, 509	. 4
トータルコスト(A)+(B) =			(A) + (B)	千円	0	13, 225. 4			13, 082. 4	13, 225	. 4

3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE)						
評価 類型	評価事項	評価区分	理由				
		☑ 結び付いている	上位の施策「文化資料の収集・保存・活用」を推進するため,郷土博物館収蔵資料等整理活用 事業を実施している。				
	①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある					
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない					
		□ 評価対象外事項					
		□ 達成している	今後も「文化資料の収集・保存・活用」を推進していく必要がある。				
	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない					
目的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項					
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	事業目的を公平に遂行し、利益をあげることは困難であるから、民営化にはなじまない。				
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない					
	(民間委託は、権限に属する事務事業 等を委託することで、民営化とは異な る。)	□ 評価対象外事項					
		☑ 現状のままでよい	所期目的の変化はなく、現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結びつく。				
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある					
		□ 評価対象外事項					
		□ 有効性向上の可能性がある	臨時職員ですでに対応を行い、改善できる点は最善を尽くしている。				
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある					
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある					
	入する。 	☑ 可能性がない					
有	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か? 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ 民間委託等					
		□ 臨時的任用職員等の活用					
効 率 性		□ IT化等の業務プロセスの見直し					
1生	である場合は、該当する類 似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し					
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 1 実施主体 (所管部署)				
		□ 上記以外の方法	事業 実施主体 名称 (所管部署)				
	⑤ー3 推進にあたっての課題はあ	□ ある					
	るか?(一時的な経費増・市 民の理解等)	口ない					

⊐ -	- ド 4163 事務事業名称	郷土博物館収蔵資料等整理活用事業	所属名 郷土博物館						
今後の方向は	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	た、収蔵資料等整理活用事業としては対	緊急雇用対策事業としては、引き続き求職者に対する短期の雇用機会の創出に努めます。また、収蔵資料等整理活用事業としては文書史料を主として整理を進め、八千代市の歴史や文化等の一端を明らかにするなかで、その活用の具体化について検討していきます。						
性			しては求職者の短期雇用に努めるが,平成22年度で終了 逐理活用事業としては事業区分を変更する中で,今後も						
			型店用事業としては事業区力を変更する中で、「でも 見直す中で継続する必要があるが、職員や人件費等の						
	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理	成 向上 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
	由を記載する。	「							
		低下口口口							
※内	この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など 図書資料等の整理が進んだことにより来館者が利用しやすくなった。								
所属長コメント	雇用創出を目的とした事業は平成2	21年度・22年度という年限が限られた事業であるが,収蔵資料等整理活用事	T業は今後も継続的に実施されるべきものである。						
=#	<u> </u>	当課の評価のとおり,現状のまま継続とする。							
評価調	□ 手法プロセスの改革・改善□ 事業規模の拡大・縮小								
整	 □ 統合・役割見直し □ その他 								
委員会	□ 廃止・休止								
評価	事業完了								
	☑ 現状のまま継続								